

宇都宮都市交通戦略推進懇談会だより

vol.5-2025.6.27-

本市では、目指すまち「スーパースマートシティ」の基盤となる「NCC」の着実な形成に向けて、多様な交通手段が連携した総合的な交通ネットワークの構築に取り組んでいます。

今年度は、「第2次宇都宮都市交通戦略(後期計画)(令和6年度策定)」の進行管理を行いました。

1 令和7年度 宇都宮都市交通戦略推進懇談会の概要

■ 令和6年度の各施策事業の取組状況等について意見交換を行いました。

- 令和6年度に策定した宇都宮都市交通戦略(後期計画)の1回目の進行管理等を行った。

- 各施策事業の取組状況等について
本計画に定めている6つの分野からなる各施策事業の令和6年度の取組状況及び今後の方針・取組について報告をし、意見交換を行った。

【令和6年度に進捗した主な取組について】

- ライトラインの駅西側整備
⇒ 駅西側の整備方針の公表(令和7年2月)
- バス路線の再編・拡充
⇒ ライトラインと重複する大通り区間のバスを3割程度削減し、幹線バスや都心部の循環バスに振り分ける方針の公表(令和7年2月)
- 乗り継ぎ・乗り換え拠点の整備(モビリティハブ※)
⇒ 令和7年度の事業実施に向けた各種協議・調整を実施(令和7年5月 ミライト一条開業(右図))



※ 公共交通の交通結節機能に加え、交流機能や休憩機能などを付与することで、乗り継ぎ利便性の向上を図るもの。

2 懇談会における主な意見

【令和6年度の進行管理について】

- 「市内のどこから乗ってもどこまで行っても片道500円以内」については、是非進めていただきたい。「1日乗車券」という名称については、利用者にとって紛らわしくない名称を検討していただきたい。
- 芳賀町と宇都宮市において、ライトラインの黄色・黒というトータルデザインが定着してきていると感じている。送迎保育ステーションの送迎バスや大谷のグリーンスローモビリティの車両も黄色・黒を利用している。今後もモビリティハブや端末交通などについて、トータルデザインで考えていただきたい。
- 公共交通のキャッシュレス化は順調に進んでいる。運転手の負担軽減や料金箱の新紙幣対応が不要になるなどコスト削減にも繋がるので、将来的に完全キャッシュレスを目指していければと思う。昨年度は関東自動車(株)において、完全キャッシュレスバスの実証運行を実施した。今後、計画の見直しや次期計画策定のタイミングにおいては、完全キャッシュレスを目標とした内容も検討していただきたい。

【お問い合わせ先】 宇都宮都市交通戦略推進懇談会

事務局:宇都宮市総合政策部交通政策課 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5

【TEL】028-632-2134 / 【FAX】028-632-5426

【E-mail】u2015@city.utsunomiya.tochigi.jp